

♪ ぽこ あ ぽこ ♪

♪ 2019年度 *poco a poco* ♪

Nr. 4 2019年5月23日(木)

文責:プファイル・辰巳

♪ あした天気になあれ!

雨の多い5月になりました。本来ですと、春になっても天気不安定な4月とは違って、ドイツの5月は「Wunderschöner Monat Mai」とハイネの詩にもうたわれるほど良い季節のはずなのですが。

いちご畑でのいちご摘みも未だ始まっていないところが多いようです。雨が降らないのも困りますが、すっきり晴れた日も恋しいですね。

さて、新学年が始まって早1か月以上が過ぎました。運動会に向けての練習も始まり、応援団練習などにも熱が入ってきたようです。体調を整えて、元気に運動会を盛り上げられるようにしたいものです。



音楽こぼれ話 <大作曲家の家族たち ① モーツァルト一家>

新しい話題で連載を始めます。テーマは「大作曲家の家族たち」。作曲家を取り巻く家族にスポットを当てて、紹介したいと思います。第1回目はモーツァルト一家です。

ヴォルフガング・A.モーツァルト(1756-1791)の生家が現在のオーストリア・ザルツブルグに残っているのが、オーストリアの作曲家となっていますが、モーツァルト家は元々ドイツの南部、現在のバイエルン州とバーデン・ヴュルテンベルグ州の境目辺りの出身でした。ヴォルフガングのお父さんレオポルト(1719-1787)がまずザルツブルグに住み、その宮廷音楽家になりました。ヴォルフガングのお母さん(アンナ・マリア: 1720-1778)はザルツブルグ近郊(ザルツカンマースグート)の出身でした。お母さんの生家はザクト・ギルゲンに残っており、ここもモーツァルトハウスの一つとして、公開されています。

大作曲家ヴォルフガングの才能を見出したのは、もちろんお父さんのレオポルトで、

幼いヴォルフガングのステージパパとなり、ヨーロッパ中、天才少年ヴォルフガングを連れて旅しました。馬車や船しかなかった時代に南はローマから、北はオランダやドーヴァー海峡を越えたイギリスまで、とその移動の距離はかなりのものでした。幼い少年ヴォルフガングにとっては、この演奏旅行はかなりの負担であったようで、彼が短命であった一因ではないかと言われています。

ヴォルフガングには通称ナンネル(1751-1829)と呼ばれていた姉がいました。5歳年上のこのお姉さんも、実はとてもピアノが上手で天才少女と言われていましたが、ヴォルフガングが頭角をあらわして以来、ステージパパの関心は弟に移ってしまいました。ナンネルはごく普通に結婚し、家庭を築き、35歳と短命であった弟とは対照的に、78歳という長寿を全うしました。

ヴォルフガングの母は、息子のパリ演奏旅行に同行中、突然客死してしまいます。この時ヴォルフガングは22歳。優しい母を亡くしたショックは大きかったようです。

父の意に反してザルツブルグでの生活を捨て、ウィーンに移住していたヴォルフガングは、父の臨終にも立ち会わなかったようですが、親しい友人には愛する父を失った悲しみを訴える手紙を書いたりしています。父の死のわずか4年後には、ヴォルフガングも早すぎる死を迎えます。

ヴォルフガング・モーツァルトの息子たちの中では、カールとフランツという2人の息子が成人し、作曲家になりましたが、二人とも生涯独身で子孫を残さなかったようです。こうして、大作曲家ヴォルフガング・A・モーツァルトの直系の血筋は19世紀に絶えてしまったということです。



ほんのちょっとだけ 演奏会情報

小学部5年生の合宿宿泊地ヴァイルブルグ(Weilburg)は、お城で開催される“*Weilburger Schlosskonzert*”で有名です。

- ・期間は5月31日から8月3日までの金・土・日
- ・場所はお城の中庭(野外)や城教会の中など
- ・詳しいプログラムやチケット購入などは

www.weilburger-schlosskonzert.de を参照してください。